

# 2024 年度 北大刑事法研究会

日 時:2024年4月20日(土)14時～

開催場所:人文・社会科学総合教育研究棟3階302教室およびハイブリッド形式

\*北大ご所属以外の皆様にも対面にてご参加いただけます。

## 《研究報告》

「身分概念と保障人的地位について」

報告者:千田峻平氏(北大 M2)

## 《研究報告》

「患者の仮定的同意とインフォームド・コンセント」

報告者:富山侑美氏(沖縄大学専任講師)

【刑事法以外の専攻分野の博士後期課程院生の皆様】

「法政理論総合研究Ⅱ」の履修の上で、本研究会の参加を希望する博士後期課程院生は、

教育研究支援センター刑事法部門(keijihoh@juris.hokudai.ac.jp)まで、

研究会 前日までに、メールにてご連絡ください。

以上

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| 公 |   | 研 |   | 会 |
|   | 法 |   | 究 |   |

【日時】 3月22日(金) 15時00分より

【場所】 法学部棟3階 321室  
Zoomを用いたハイブリッド形式にて実施

【報告者および報告内容】

横堀 あき 氏 (北海道教育大学札幌校 講師)  
「デジタル時代の地方自治条項解釈」

※報告内容は変更となることがあります

公法研究会メーリングリストに登録していない方で、本研究会に参加を希望される方は、**3月15日(金) 正午**までに [教育研究支援センターkoho@juris.hokudai.ac.jp](mailto:koho@juris.hokudai.ac.jp)までご連絡をお願いします。

その際、対面/オンラインのどちらで参加希望かをお知らせください。

参加者の皆様には、研究会開催日の前日までに、レジュメなどの報告資料、Zoom招待URL(オンライン参加の方)をメールにてご案内いたします。

# 北大刑事法研究会および日本刑法学会(北海道部会)共同開催での研究会

日 時:2024年3月9日(土)14時～

開催場所:人文・社会科学総合教育研究棟3階302教室およびハイブリッド形式  
北大ご所属以外の皆様にも対面にてご参加いただけます。

## 《判例報告》

「被告人が、走行中の電車内で、殺意をもって、乗客の一名の胸をナイフで突き刺し、また、多数の乗客に対し、殺意をもって、ライター用オイルをまき散らすなどした上、点火したライターを投げて、同電車の床を焼損させたが、殺害の目的を遂げなかった殺人未遂、銃砲刀剣類所持等取締法違反、現住建造物等放火の事案」

(東京地立川支判令和5年7月31日判決(裁判所ウェブサイト))

報告者:池田杏奈氏(北大 D3)

## 《判例報告》

「準詐欺罪の過去・現在・未来」

(参考判例)

神戸地判平成31年2月21日(LLI/DB L07450292)

(参考文献)

- ・渡辺靖明「ドイツ刑法の暴利罪(Wucher)について」穴沢大輔ほか(編)『消費社会のこれからと法 長井長信先生古稀記念』(信山社・2024年)417頁以下
- ・城下裕二「準詐欺罪をめぐる解釈論上の諸問題」同3頁以下

報告者:城下裕二氏(北大 教授)

【刑事法以外の専攻分野の博士後期課程院生の皆様】

「法政理論総合研究Ⅱ」の履修の上で、本研究会の参加を希望する博士後期課程院生は、教育研究支援センター刑事法部門(keijiho@juris.hokudai.ac.jp)まで、研究会 前日までに、メールにてご連絡ください。

# 北大刑事法研究会

日 時:2024年3月2日(土)14時～

開催場所:人文・社会科学総合教育研究棟3階302教室およびハイブリッド形式

北大ご所属以外の皆様にも対面にてご参加いただけます。

## 《判例報告》

「インターネットサイトの管理・運営者の刑事責任」

(最決令和3年2月1日刑集75巻2号123頁)

報告者:金子裕也氏(北大 M1)

## 《修士論文中間報告》

「麻薬及び向精神薬取締法及び薬物犯罪の諸問題について」

報告者:清水響太氏(北大 M2)

【刑事法以外の専攻分野の博士後期課程院生の皆様】

「法政理論総合研究Ⅱ」の履修の上で、本研究会の参加を希望する博士後期課程院生は、

教育研究支援センター刑事法部門(keijiho@juris.hokudai.ac.jp)まで、

研究会 前日までに、メールにてご連絡ください。

以上

# 社会保障法研究会

日時：2024年2月17日（土曜）14時～17時予定

場所：法学部 403 演習室

\*ハイブリット方式（zoom 併用）

①研究報告 田中伸至氏（新潟大学）

「ドイツの病院制度改革」

②研究報告 田中謙一氏（北海道大学）

「介護予防・日常生活支援総合事業の政策的意義と  
法的課題」

\* 次回の研究会は、4月20日（土曜）を予定しています。

\* 会員以外で参加を希望する方は、事前に下記2名の両方  
ご連絡ください。

幹事（川久保・dnm69686@elms.hokudai.ac.jp）

研究支援センター（渡辺・shakaiho@juris.hokudai.ac.jp）

# 北大刑事法研究会

日 時:2024年2月17日(土)13時～

開催場所:人文・社会科学総合教育研究棟3階302教室およびハイブリッド形式

北大ご所属以外の皆様にも対面にてご参加いただけます。

## 《博士論文中間報告》

「性犯罪の横断的研究—若年者を被害者とする性犯罪の研究を中心に」

報告者:小棚木公貴氏(北大 D3)

## 《判例報告》

「刑事収容施設及び被収容者等の処遇に関する法律 98 条の定める  
作業報奨金の支給を受ける権利に対する強制執行の可否」

(最決令和4年8月16日民集76巻6号1271頁)

報告者:小名木明宏氏(北大 教授)

## 《研究報告》

「量刑について考える ～裁判員裁判からのリフレクション～」

報告者:秋山敬氏((元 仙台高裁部総括判事)

【刑事法以外の専攻分野の博士後期課程院生の皆様】

「法政理論総合研究Ⅱ」の履修の上で、本研究会の参加を希望する博士後期課程院生は、

教育研究支援センター刑事法部門(keijiho@juris.hokudai.ac.jp)まで、

研究会 前日までに、メールにてご連絡ください。

以上

# 民事法研究会

日時: 2024年1月26日(金)13:30~

場所: 研究棟 403 室  
(対面およびオンラインでのハイフレックスでの開催)

(※大学院生については、後期からは対面参加のみといたします。)

《研究報告》

報告者: 佐藤亮平氏(北大 大学院)

テーマ: 「相続回復制度の日仏比較」

《判例報告》

報告者: 牧 佐智代 氏(北大 教授)

テーマ: 「給与ファクタリングが貸金業法・出資法上の『貸付け』に該当するとされた事例(最決令和5年2月20日刑集77巻2号13頁)」

参考文献: 石田剛・法教514号119頁

出席を希望される方は、教育研究支援センター民事法部門まで、**前日迄**ご連絡ください。  
【連絡先】 minjiho<at>juris.hokudai.ac.jp (<at> を @ に変えてください)

# 社会保障法研究会

日時：2024年1月27日（土曜）14時～17時予定

場所：法学部 403 演習室

\*ハイブリット方式（zoom 併用）

①判例評釈 加藤智章氏（北星学園大学）

「柔道整復師の施術にかかる療養費の受領委任と過誤

調整合意：大阪高判平 29.3.28D1-Law28252329

（大阪地判平 28.2.17 判例自治 420 号 70 頁）」

②研究報告 玉川淳氏（神奈川県立保健福祉大学）

「介護保険と地方公共団体」

\* 次回の研究会は、2月17日（土曜）を予定しています。

\* 会員以外で参加を希望する方は、事前に下記2名の両方にご連絡ください。

幹事（川久保・dnm69686@elms.hokudai.ac.jp）

研究支援センター（渡辺・shakaiho@juris.hokudai.ac.jp）

# 民事法研究会

日時: 2024年1月19日(金)13:30~

場所: W409 室

(対面およびオンラインでのハイフレックスでの開催)

(※大学院生については、後期からは対面参加のみといたします。)

## 【民事法研究会】

《博士後期課程中間報告》

報告者: 姜 富超氏(北大 大学院)

テーマ: 「議決権種類株式を発行する上場会社におけるガバナンス問題とその規制の検討 – 米国、日本、中国の法規制を素材として」

【民事法研究会および私法統一研究会との共催】 **\*\*1 件目の民事法研究会終了後\*\***

《研究報告》

報告者: 小林一郎氏(一橋大学 教授)

テーマ: 「日本的契約慣行の研究」

<参考文献リスト>

「日本的契約慣行の研究(1)~(3・完): 申込み・承諾によらない契約成立の認定手法がもたらす特異性」一橋法学 22 巻 1 号 1 頁、2 号 181 頁、3 号 213 頁。

「日本的契約慣行の研究: 申込み・承諾によらない契約成立の認定手法がもたらす特異性」私法 85 号掲載予定

「サプライチェーン・デュー・ディリジェンスと契約管理(上): ドイツ企業との比較から見える日本企業の課題」NBL1255 号 10 頁、1256 号 15 頁

出席を希望される方は、教育研究支援センター民事法部門まで、**前日迄**ご連絡ください。

【連絡先】 minjiho<at>juris.hokudai.ac.jp ( <at> を @ に変えてください)

# 民事法研究会

日時: 2024年1月5日(金)13:30~

場所: W409 室

(対面およびオンラインでのハイフレックスでの開催)

(※大学院生については、後期からは対面参加のみといたします。)

《博士論文中期報告》

報告者: 梁 超氏(北大 大学院)

テーマ: 「人格権における利益吐出しの発生根拠と法律構成に関する比較法的研究」

《研究報告》

報告者: 福田誠治氏(駒澤大学 教授)

テーマ: 「保証債権の混同——内田説の批判的検討」

参考文献: 内田貴「保証人の合併」ジュリ 1559号(2021年)82頁、福田誠治「求償制度の解釈目標(上)、(下)」駒法 22巻1号(2022年)横1頁、2号(2023年)横1頁

出席を希望される方は、教育研究支援センター民事法部門まで、**前日迄**ご連絡ください。

【連絡先】 minjiho<at>juris.hokudai.ac.jp (<at> を @ に変えてください)

# 民事法研究会

日時: 2023年12月22日(金)13:30~

場所: 研究棟 403 室  
(対面およびオンラインでのハイフレックスでの開催)

(※大学院生については、後期からは対面参加のみといたします。)

《修士論文中間報告》

報告者: 黄少聡氏(北大 大学院)

テーマ: 「債務不履行における履行請求権の制限について—賃貸人の損害軽減義務を中心に—」

出席を希望される方は、教育研究支援センター民事法部門まで、**前日迄**ご連絡ください。

【連絡先】 minjiho<at>juris.hokudai.ac.jp (<at> を @ に変えてください)

# 民法法研究会

日時: 2023年12月15日(金)13:30~

場所: 研究棟 403 室  
(対面およびオンラインでのハイフレックスでの開催)

(※大学院生については、後期からは対面参加のみといたします。)

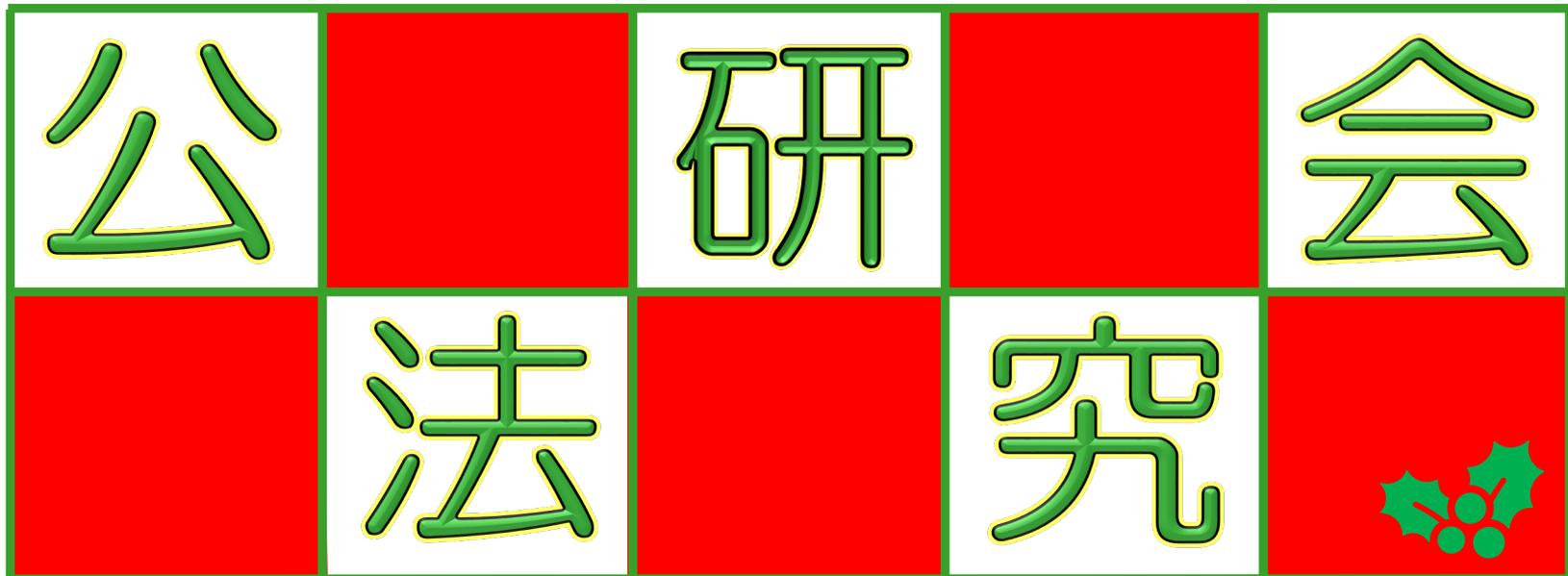
《研究報告》

報告者: 林耕平氏(北大 准教授)

テーマ: 「契約責任法における損害算定論——ドイツにおける仮定的瑕疵除去費用の賠償の可否をめぐる議論を手がかりとして」

参考文献: 山田孝紀「売買契約・請負契約の給付に代わる仮定的損害賠償——ドイツ法における近時の展開」日本法学 87 巻 3 号(2021 年)65 頁

出席を希望される方は、教育研究支援センター民事法部門まで、**前日迄**ご連絡ください。  
【連絡先】 minjiho<at>juris.hokudai.ac.jp (<at> を @ に変えてください)



【日時】 12月15日(金) 15時00分より

【場所】 法学部棟3階 321室  
Zoomを用いたハイブリッド形式にて実施

【報告者および報告内容】

鈴木 繁元 氏

(北海道大学大学院法学研究科 助教)

「金沢市庁舎前広場利用不許可事件最高裁判決」  
(最三小判令和5年2月21日民集77巻2号273頁)

公法研究会メーリングリストに登録していない方で、本研究会に参加を希望される方は、**12月8日(金)**までに、**教育研究支援センター** [koho@juris.hokudai.ac.jp](mailto:koho@juris.hokudai.ac.jp) (担当・山下) までご連絡をお願いします。その際、対面／オンラインのどちらで参加希望かをお知らせください。

参加者の皆様には、研究会開催日の前日までに、レジュメなどの報告資料、Zoom招待URL(オンライン参加の方)をメールにてご案内いたします。



問い合わせ先：教育研究支援センター（上記アドレス / Tel 706-3862）

# 北大刑事法研究会

日 時:2023年12月16日(土)13時～

開催場所:人文・社会科学総合教育研究棟3階302教室およびハイブリッド形式

北大ご所属以外の皆様にも対面にてご参加いただけます。

## 《博士論文中間報告》

「被害者の錯誤に関する研究—総論的検討—」

報告者:王晨琨氏(北大 D2)

## 《博士論文中間報告》

「家庭内犯罪に関する横断的研究

——カップル間犯罪を中心に「素人領域における平行的評価」についての検討」

報告者:左婍雨氏(北大 D2)

## 《研究報告》

「不作為犯論におけるシャクティパット事件決定の意義」

※参考判例:最決平成 17・7・4 刑集 59 卷 6 号 403 頁

報告者:松尾誠紀氏(北大 教授)

【刑事法以外の専攻分野の博士後期課程院生の皆様】

「法政理論総合研究Ⅱ」の履修の上で、本研究会の参加を希望する博士後期課程院生は、

教育研究支援センター刑事法部門(keijiho@juris.hokudai.ac.jp)まで、

研究会 前日までに、メールにてご連絡ください。

以上

# 社会保障法研究会

日時：2023年12月9日（土曜）14時～17時

場所：小樽商科大学1号館3階A会議室

\*ハイブリット方式（zoom併用）

## ①研究報告 片桐由喜氏（小樽商科大学）

「家庭的保育事業における保育事故と家庭保育福祉員・市の  
損害賠償責任

：横浜地横須賀支判令和2・5・25（判時2467号67頁）」

## ②研究報告 川久保寛氏（北海道大学）

「無認可保育所における幼児の死亡と市の損害賠償責任

：福岡地小倉支判平成23・4・12（判例集未掲載）」

\* 次回の研究会は、1月27日（土曜）を予定しています。

\* 会員以外で参加を希望する方は、事前に下記2名の両方  
ご連絡ください。

幹事（川久保・dnm69686@elms.hokudai.ac.jp）

研究支援センター（渡辺・shakaiho@juris.hokudai.ac.jp）

# 民事法研究会

日時: 2023年11月24日(金)13:30～

場所: 研究棟 403 室  
(対面およびオンラインでのハイフレックスでの開催)

(※大学院生については、後期からは対面参加のみといたします。)

《研究報告》

報告者: 橋本 伸氏(小樽商科大学 准教授)

テーマ: 「アメリカにおける個人情報漏えいの被害者保護に関する新たな動き  
——原状回復法による保護をめぐる議論を中心に」

参考文献: 橋本伸「アメリカにおける個人情報漏えいの被害者保護に関する新たな動き(1)——原状回復法による保護をめぐる議論を中心に」商学討究 74 巻 1号 (2023) 123 頁」

出席を希望される方は、教育研究支援センター民事法部門までご連絡ください。  
【連絡先】 minjiho<at>juris.hokudai.ac.jp (<at> を @ に変えてください)

# 社会保障法研究会

日時：2023年11月11日（土曜）14時～17時

場所：法学部 403 演習室

\*ハイブリット方式（zoom 併用）

①研究報告 菊池馨実氏（早稲田大学）

「社会保障法の基礎理論と政策論」

②研究報告 川久保寛氏（北海道大学）

「政令による児童扶養手当と障害基礎年金の併給調整

：児童扶養手当支給停止処分取消請求事件

京都地判令和3年4月16日（判時2532号33頁）」

\* 次回の研究会は、12月9日（土曜）を予定しています。

\* 会員以外で参加を希望する方は、事前に下記2名の両方にご連絡ください。

幹事（川久保・dnm69686@elms.hokudai.ac.jp）

研究支援センター（渡辺・shakaiho@juris.hokudai.ac.jp）

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| 公 |   | 研 |   | 会 |
|   | 法 |   | 究 |   |

【日時】 11月10日(金) 15時00分より

【場所】 法学部棟3階 321室  
Zoomを用いたハイブリッド形式にて実施

【報告者および報告内容】

遠矢 拓誠 氏

(北海道大学大学院法学研究科 修士課程2年)

「憲法24条の要請としての同性婚の制度化」

(リサーチペーパー構想報告)

公法研究会メーリングリストに登録していない方で、本研究会に参加を希望される方は、11月3日(金)までに、**教育研究支援センター**  
[koho@juris.hokudai.ac.jp](mailto:koho@juris.hokudai.ac.jp) (担当・山下) までご連絡をお願いします。  
その際、対面／オンラインのどちらで参加希望かをお知らせください。

参加者の皆様には、研究会開催日の前日までに、レジュメなどの報告資料、Zoom招待URL(オンライン参加の方)をメールにてご案内いたします。



問い合わせ先：教育研究支援センター（上記アドレス / Tel 706-3862）

# 北大刑事法研究会

日 時:2023年11月11日(土)13時～(後期は開始時刻にご注意ください。)

開催場所:人文・社会科学総合教育研究棟3階302教室およびハイブリッド形式

北大ご所属以外の皆様にも対面にてご参加いただけます。

## 《修士論文中間報告》

「中国における酒酔い危険運転罪の共同犯罪について」

報告者:陸程氏(北大 M2)

## 《修士論文中間報告》

「日韓における検察と警察の関係に関する比較法的検討」

報告者:文雪旻氏(北大 M2)

## 《博士論文中間報告》

「環境刑法における法益保護」

報告者:梁小煒氏(北大 D3)

【刑事法以外の専攻分野の博士後期課程院生の皆様】

「法政理論総合研究Ⅱ」の履修の上で、本研究会の参加を希望する博士後期課程院生は、

教育研究支援センター刑事法部門(keijiho@juris.hokudai.ac.jp)まで、

研究会 前日までに、メールにてご連絡ください。

以上

# 社会保障法研究会

日時：2023年10月28日（土曜）14時～17時

場所：法学部 403 演習室

\*ハイブリット方式（zoom 併用）

①研究報告 近藤恭子氏（北大公共政策大学院）

「子どもの Well-being のためのまちづくり」

②研究報告 川久保寛氏（北海道大学）

「被保険者資格の認定と保険料の徴収」

\* 次回の研究会は、11月11日（土曜）に予定しています。

\* 会員以外で参加を希望する方は、事前に下記2名の両方にご連絡ください。

幹事（川久保・dnm69686@elms.hokudai.ac.jp）

研究支援センター（渡辺・shakaiho@juris.hokudai.ac.jp）

公

研

会

法

究

【共催】 労働判例研究会

【日時】 10月13日(金) 15時00分～  
Zoomを用いたオンライン形式で実施します

【報告者および報告内容】

盛永悠太 氏

(北海道大学大学院法学研究科 助教)

「アカデミック・ハラスメントをめぐる法的課題」

➤ 公法研究会メーリングリストに登録していない方で、本研究会に参加を希望される方は、10月6日(金)午前中までに、**教育研究支援センター** [koho@juris.hokudai.ac.jp](mailto:koho@juris.hokudai.ac.jp) (担当・山下) までご連絡をお願いします。

参加者の皆様には、研究会開催日の前日までに、レジュメなどの報告資料、およびZoom招待URL等をメールにてご案内いたします。



問い合わせ先：教育研究支援センター（上記アドレス / Tel 706-3862）

# 北大刑事法研究会

日 時：2023年 9月30日（土）14時～

開催場所：人文・社会科学総合教育研究棟3階302教室

開催形式：ハイブリッド形式

\*令和5年度は、ハイブリット形式での開催となりますので、宜しくお願いいたします。

場所は人文・社会科学総合教育研究棟3階302教室となります。

なお、北大ご所属以外の皆様にも、対面にてご参加いただけます。

## 《判例報告》

「臨床研究における研究代表者への謝礼の賄賂性

（大阪地判令和4年2月22日裁判所ウェブサイト掲載 LEX/DB25572073）

報告者：牧 真由氏（北大 M2）

## 《研究報告》

「違法収集証拠排除法則の機能と基準」

報告者：緑大輔氏（一橋大学 教授）

### 【刑事法以外の専攻分野の博士後期課程院生の皆様】

「法政理論総合研究Ⅱ」の履修の上で、本研究会の参加を希望する博士後期課程院生は、  
教育研究支援センター刑事法部門（keijiho@juris.hokudai.ac.jp）まで、  
研究会 前日までに、メールにてご連絡ください。

以上

# 公 法 研 究 会

【日時】 9月8日(金) 13時30分～

Zoomを用いたオンライン形式で実施します

【報告者および報告内容】

神橋 一彦 会員（立教大学法学部 教授）

「公法解釈と自律的法規範」（公法学会プレ報告）

岸本 太樹 会員（北海道大学法学研究科 教授）

「行政法規範と私法規範の相互関係」

（ 同 ）

➤ 公法研究会メーリングリストに登録していない方で、本研究会に参加を希望される方は、**9月1日(金)午前中**までに、**教育研究支援センター** [koho@juris.hokudai.ac.jp](mailto:koho@juris.hokudai.ac.jp)（担当・山下）までご連絡をお願いします。

参加者の皆様には、研究会開催日の前日までに、レジュメなどの報告資料、およびZoom招待URL等をメールにてご案内いたします。



問い合わせ先：教育研究支援センター（上記アドレス / Tel 706-3862）

# 民法法研究会

日時: 2023年7月28日(金)13:30~

場所: 文学部 W409 室  
(対面およびオンラインでのハイフレックスでの開催)

《研究報告》

報告者: 角本氏(立命館大学 准教授)

テーマ: 「テーマ: 広中俊雄・吉田克己の民法体系論と「情報秩序」: ルチアーノ・フロリディの「情報圏」論からの示唆に基づく一試論

主要参考文献

広中俊雄『新版民法綱要 第一巻 総論』(創文社、2006)

吉田克己『現代市民社会と民法学』(日本評論社、1999)

吉田克己『市場・人格と民法学』(北海道大学出版会、2012)

LUCIANO FLORIDI, INFORMATION (Very Short Introductions)(Oxford University Press, 2010).

邦訳として、ルチアーノ・フロリディ(塩崎亮訳)『情報の哲学のために』(勁草書房、2021)

LUCIANO FLORIDI, THE FOURTH REVOLUTION (Oxford University Press, 2014).

邦訳として、ルチアーノ・フロリディ(春木良且、犬束敦史監訳)『第四の革命』(新曜社、2017)

《研究報告》

報告者: 山木戸勇一郎氏(北大 教授)

テーマ: 「詐害行為取消権・否認権の詐害行為類型における債務者・破産者の財産状態要件について」

・参考文献: 垣内秀介「否認要件をめぐる若干の考察——有害性の基礎となる財産状態とその判断基準時を中心として」田原睦夫先生古稀・最高裁判事退官記念

『現代民事法の実務と理論(下)』(金融財政事情研究会、2013年)213頁、宇野瑛人「債務者の財産状態と財産減少行為否認の有害性」法学 82 巻 4 号(2018年)1頁。

・参照条文: 民法 424 条 1 項、破産法 160 条 1 項 1 号

出席を希望される方は、教育研究支援センター民法部門までご連絡ください。

【連絡先】 minjiho<at>juris.hokudai.ac.jp (<at> を @ に変えてください)

# 民事法研究会

日時: 2023年7月21日(金)13:30~

場所: 文学部 W409 室  
(対面およびオンラインでのハイフレックスでの開催)

《研究報告》

報告者: 徐雅欣 氏(北大 大学院)

テーマ: 「中国における監護人責任(監督義務者責任)の現況と課題」

《研究報告》

報告者: 山本周平 氏(北大 准教授)

テーマ: 「異常に危険な活動」についての厳格責任: 米国第 3 次不法行為法  
リステイトメント 20 条の検討を中心に

参考文献:

- ・樋口範雄『アメリカ不法行為法[第 2 版]』(弘文堂、2014 年)第 9 章第 1 節
- ・山本周平「「異常に危険な活動」についての厳格責任——第 3 次不法行為法  
リステイトメント 20 条の検討」松久三四彦古稀『時効・民事法制度の新展開』  
(信山社、2022 年)791 頁」

出席を希望される方は、教育研究支援センター民事法部門までご連絡ください。  
【連絡先】 minjiho<at>juris.hokudai.ac.jp (<at> を @ に変えてください)

# 北大刑事法研究会

日 時：2023年 7月22日（土）14時～

開催場所：人文・社会科学総合教育研究棟3階302教室

開催形式：ハイブリッド形式

\*令和5年度は、ハイブリット形式での開催となりますので、宜しくお願いいたします。  
前期につきましては 場所は人文・社会科学総合教育研究棟3階302教室となります。  
なお、北大ご所属以外の皆様にも、対面にてご参加いただけます。

## 《判例報告》

「死亡後間もないえい児の死体を隠匿した行為が刑法190条にいう「遺棄」に  
当たらないとされた事例」

（最判令和5年3月24日裁時1812号3頁）

報告者：池田杏奈氏（北大D3）

## 《研究報告》

「侮辱罪の法定刑引き上げについて」

報告者：佐藤結美氏（上智大学 准教授）

## 【刑事法以外の専攻分野の博士後期課程院生の皆様】

「法政理論総合研究Ⅱ」の履修の上で、本研究会の参加を希望する博士後期課程院生は、  
教育研究支援センター刑事法部門（keijiho@juris.hokudai.ac.jp）まで、  
研究会 前日までに、メールにてご連絡ください。

以上

# 社会保障法研究会

日時：2023年7月22日（土曜）14時～17時

場所：法学部 403 演習室

\*ハイブリット方式（zoom 併用）

①研究報告 田中謙一氏（北海道大学）

「障害年金に係る障害の認定の在り方

－ 4月の研究会での議論を踏まえて－」

②研究報告 西村淳氏（神奈川県立保健福祉大学）

「参加・貢献支援の社会保障法と哲学」

参考文献) 西村淳『参加・貢献支援の社会保障法

－法理念と制度設計－』（信山社、2023年）

\* 会員以外で参加を希望する方は、事前に下記2名の両方にご連絡ください。

幹事（川久保・dnm69686@elms.hokudai.ac.jp）

研究支援センター（渡辺・shakaiho@juris.hokudai.ac.jp）

# 政治研究会

## 【7月定例研究会】

と き : 7月28日 (金) 16時30分～

ところ : スラブ・ユーラシア研究センター  
4階 大会議室 (403室)

テーマ : 「メキシコ連邦議会下院にみる  
女性の実質的代表」

報告者 : 馬場 香織氏 (北海道大学大学院公共  
政策学連携研究部・准教授)

リヴィ井手 弘子氏 (ラ・トローブ  
大学人文社会科学部・研究員)

※リヴィ井手 弘子氏はオンラインで会場と中継してご報告されます。

今後の開催予定は以下のとおりです。

- ・10月19日(木)16時30分～
- ・11月16日(木)16時30分～

幹事・担当教員 : 村上裕一

【お問い合わせ】 教育研究支援センター・政治部門  
seiji@juris.hokudai.ac.jp

# 民事法研究会

日時: 2023年7月7日(金)13:30~

場所: 文学部 W409 室  
(対面およびオンラインでのハイフレックスでの開催)

《研究報告》

報告者: 山崎木綿子氏(北大 大学院)

テーマ: 「成年後見とは一被後見人と後見人の法的な関係」

《判例報告》

報告者: 根本尚徳氏(北大 教授)

テーマ: 「指定暴力団員の関与する特殊詐欺について指定暴力団の代表者等の  
責任が認められた事例」

(東京高判令和2年3月4日判例タイムズ1496号109頁)

参考文献: なし

出席を希望される方は、教育研究支援センター民事法部門までご連絡ください。

【連絡先】 minjiho<at>juris.hokudai.ac.jp (<at> を @ に変えてください)

公

研

会

法

究

【共催】 民法研究会

【日時】 7月14日(金) 15時00分～

Zoomを用いたオンライン形式で実施します

【報告者および報告内容】

米田 雅宏 会員

(北海道大学大学院法学研究科 教授)

「国家賠償法1条1項の違法性—民事不法行為法上の  
保護規範(法規)違反の理解を素材として—」

- 本研究会に参加を希望される方は、7月7日(金)午前中 までに  
教育研究支援センター(担当:山下) [koho@juris.hokudai.ac.jp](mailto:koho@juris.hokudai.ac.jp) まで  
ご連絡をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

参加者の皆様には、研究会開催日の前日までに、レジュメなどの報告資料、  
およびZoom招待URL等をメールにてご案内いたします。



問い合わせ先：教育研究支援センター（内線3862）

# 民事法研究会

日時: 2023年6月30日(金)13:30~

場所: 研究棟 403室  
(対面およびオンラインでのハイフレックスでの開催)

《判例報告》

報告者: 池田清治氏(北大 教授)

テーマ: 「東京地判令和3年8月30日(判時2522号112頁)」

\* 評釈: 水野信次・銀法890号70頁(=同896号67頁)

吉野 彰・金法2195号38頁

池田清治・私法判例リマックス67号18頁(掲載予定)

\* 関連文献: 池田清治・民商114巻1号95頁

出席を希望される方は、教育研究支援センター民事法部門までご連絡ください。

【連絡先】 minjiho<at>juris.hokudai.ac.jp (<at> を @ に変えてください)

# 北大刑事法研究会

日 時：2023年 7月8日（土）14時～

開催場所：人文・社会科学総合教育研究棟3階302教室

開催形式：ハイブリッド形式

\*令和5年度は、ハイブリット形式での開催となりますので、宜しくお願いいたします。  
前期につきましては 場所は人文・社会科学総合教育研究棟3階302教室となります。  
なお、北大ご所属以外の皆様にも、対面にてご参加いただけます。

## 《判例報告》

「窃盗罪における不法領得の意思の有無が問題となった事例」

（名古屋高判令和3年12月14日高刑速（令3）501頁）

報告者：小棚木公貴氏（北大 D3）

## 《研究報告》

「統合失調症と原因において自由な行為」

報告者：林サンコウ氏（北大 助教）

## 【刑事法以外の専攻分野の博士後期課程院生の皆様】

「法政理論総合研究Ⅱ」の履修の上で、本研究会の参加を希望する博士後期課程院生は、  
教育研究支援センター刑事法部門（keijiho@juris.hokudai.ac.jp）まで、  
研究会 前日までに、メールにてご連絡ください。

以上

# 北大経済法研究会

日 時：7月29日(土)14:00～17:00

※ZOOM によるオンライン開催

テ ー マ：「不当な取引制限規制における行政事件と刑事事件の架橋」

報 告 者：中川晶比兒氏（北海道大学法学研究科 教授）

参考文献：中川晶比兒「不当な取引制限規制の課題」公正取引 871 号 15 頁（2023 年）

コメンテーター：長井長信氏（明治学院大学 名誉教授）

\* 北大法学研究科の教員又は大学院生（経済法以外の専攻の者）であって、

参加を希望する方は、**7/27（木）17時までに**、教育研究支援センター（社会法）

E-mail:shakaiho@juris.hokudai.ac.jp 宛てに、

①ご所属、②お名前、③メールアドレスを明記の上、ご連絡下さい。

※数日前に接続情報等をご連絡致します。

北大経済法研究会 幹事

# 民事法研究会

日時: 2023年6月16日(金)13:30~

場所: 文学部 W409 室  
(対面およびオンラインでのハイフレックスでの開催)

《研究報告》

報告者: 横路 俊一氏(北大 准教授)

テーマ: 「民事調停の進行についての考察」

出席を希望される方は、教育研究支援センター民事法部門までご連絡ください。  
【連絡先】 minjiho<at>juris.hokudai.ac.jp (<at> を @ に変えてください)

# 社会保障法研究会

日時：2023年6月24日（土曜）14時～17時

場所：小樽商科大学1号館3階A会議室

\*ハイブリット方式（zoom併用）

①研究報告 川久保寛氏（北海道大学）

「地域の変容と社会保障

－地域共生社会と新しい社会保障－（仮）」

②研究報告 北岡大介氏（東洋大学）

「労災支給決定処分に対する事業主からの取消訴訟と  
労災メリット制」

\* 次回の研究会は、7月22日（土曜）に予定しています。

\* 会員以外で参加を希望する方は、事前に下記2名の両方  
ご連絡ください。

幹事（川久保・dnm69686@elms.hokudai.ac.jp）

研究支援センター（渡辺・shakaiho@juris.hokudai.ac.jp）

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| 公 |   | 研 |   | 会 |
|   | 法 |   | 究 |   |

【日時】 6月23日(金) 15時00分～

Zoomを用いたオンライン形式で実施します

【報告者及び報告内容】

菅澤 紀生 会員

(北海道大学法学研究科 博士後期課程D3 / 弁護士)

「広がった市街地、スポンジ化していく市街地に  
都市法はどう対処すべきか」

- 本研究会に参加を希望される方は、**6月16日(金)午前中**までに  
教育研究支援センター(担当:山下) [koho@juris.hokudai.ac.jp](mailto:koho@juris.hokudai.ac.jp) まで  
ご連絡をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

参加者の皆様には、研究会開催日の前日までに、レジュメなどの報告資料、  
およびZoom招待URL等をメールにてご案内いたします。



問い合わせ先：教育研究支援センター（内線3862）

# 北大刑事法研究会

日 時：2023年 6月24日（土）14時～

開催場所：人文・社会科学総合教育研究棟3階302教室

開催形式：ハイブリッド形式

\*令和5年度は、ハイブリット形式での開催となりますので、宜しくお願いいたします。  
前期につきましては 場所は人文・社会科学総合教育研究棟3階302教室となります。  
なお、新年度より、北大ご所属以外の皆様にも、対面にてご参加いただけます。

## 《修士論文報告》

「他者の不作為を介した犯罪の実現について(1)」

参考判例：最決令和2年8月24日刑集74巻5号517頁

報告者：千田峻平氏（北大 M2）

## 《研究報告》

「背任罪における本人の意思と被害者の同意」

報告者：富山侑美氏（沖縄大学 講師）

## 【刑事法以外の専攻分野の博士後期課程院生の皆様】

「法政理論総合研究Ⅱ」の履修の上で、本研究会の参加を希望する博士後期課程院生は、  
教育研究支援センター刑事法部門（keijiho@juris.hokudai.ac.jp）まで、  
研究会 前日までに、メールにてご連絡ください。

# 政治研究会

**【6月定例研究会】**

**と き : 6月16日(金) 16時30分～**

**ところ : スラブ・ユーラシア研究センター  
4階 大会議室 (403室)**

**テーマ : 「中国共産党一党体制下における  
法曹人材の専門職業化 (仮)」**

**報告者 : 内藤 寛子氏**

**( (独) 日本貿易振興機構アジア経済  
研究所 研究員 )**

今後の開催予定は以下のとおりです。

7月28日(金) 16時30分～

幹事・担当教員 : 村上裕一

【お問い合わせ】 教育研究支援センター・政治部門  
seiji@juris.hokudai.ac.jp

# 民事法研究会

(民法理論研究会共催)

日時: 2023年6月2日(金)13:30~

場所: 文学部 W409 室  
(対面およびオンラインでのハイフレックスでの開催)

《判例報告》

報告者: 林誠司氏(北大 教授)

テーマ: 「最判令和 5 年 1 月 27 日令和 3 年(受)第 968 号(判例評釈)」  
裁判所ウェブサイト

・参考文献 米村滋人『医事法講義』(2016 年、日本評論社)126 頁以下  
浦川道太郎「説明義務と医師の裁量」年報医事法学 8 号 78 頁

《研究報告》

報告者: 藤原正則氏(北大 名誉教授)

テーマ: 「他人物の不適法な賃貸借と転貸借—所有者の賃貸人、転貸人に対する  
不当利得返還請求」

・参考文献: 藤原正則「他人物の不適法な賃貸借と転貸借—所有者の賃貸人、  
転貸人に対する不当利得返還請求」  
松久三四彦先生古稀記念『時効・民事法制度の新展開』(信山社・2022 年)503  
頁

出席を希望される方は、教育研究支援センター民事法部門までご連絡ください。

【連絡先】 minjiho<at>juris.hokudai.ac.jp (<at> を @ に変えてください)

|   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|
| 公 |   | 研 |   | 会 |
|   | 法 |   | 究 |   |

【日時】 5月26日(金) 15時00分～

Zoomを用いたオンライン形式で実施いたします。

【報告者及び報告内容】

遠矢 拓誠 会員

(北海道大学法学研究科 修士課程2年)

「同性間の婚姻を認めていない民法及び戸籍法の規定が、  
憲法24条2項に違反する状態にあるとした事案」

(東京地判令和4年11月30日裁判所ウェブサイト)

- 本研究会に参加を希望される方は、**5月19日(金)午前中**までに  
教育研究支援センター(担当:山下) [koho@juris.hokudai.ac.jp](mailto:koho@juris.hokudai.ac.jp) まで  
ご連絡をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

参加予定者の皆様には、研究会実施日の前日までに、レジュメなどの報告資料、  
およびZoom招待URL等をメールにてお送りいたします。



問い合わせ先：教育研究支援センター（内線3862）

# 社会保障法研究会

日時：2023年5月20日（土曜）14時～17時

場所：法学部 403 演習室

\*ハイブリット方式（zoom 併用）

①判例報告 加藤智章氏（北星学園大学）

「健康保険料等の納入告知と抗告訴訟の対象

：東京地判令3年4月15日裁判所 web/

LEX-DB25589413

②研究報告 中川純氏（東京経済大学）

「刑事司法と社会保障」

\* 次回の研究会は、6月24日（土曜）に小樽商科大学で開催  
する予定です（zoom 併用）。

\* 会員以外で参加を希望する方は、事前に下記2名の両方  
ご連絡ください。

幹事（川久保・dnm69686@elms.hokudai.ac.jp）

研究支援センター（渡辺・shakaiho@juris.hokudai.ac.jp）